

署名は互いの信頼を高めます

ラシを刷って新聞読者に届けています。他の民主団体・個人とのつながりが署名協力にも大きな力を發揮しています。こうした地域での共闘の積み上げが自民党の悪政を跳ね返す大きな力になっています。

連帶が生まれます。これが和たちのスタイルであり最大の財産です。

署名は、分断される社会に人と人をつなげるツールであり、微力な私の「たたかい」の武器であります。一枚の署名用紙と通して連帯の輪を広げるを感じています。うれしいことは、数人の元校長先生や現職の教頭先生からも署名が届くことです。手紙に小さな激励をもらいます。

県・治安維持法犠牲者名簿自由と平和を求めてたたかつた戦前の人びと』を発刊しています。今回は、この犠牲者名簿を基礎に、その後の各府県の労働運動、民主運動の研究に学び、編集作業を行う方針です。

会員の皆さんにも、事件や犠牲者に関する情報の提供、また調査に、協力をお願いします。

200筆以上国賠署名に取り組んで
甲賀市 田中 哲

治安維持法犧牲者顯彰活動

事務局たより

槽延

不居

滋賀県版No. 346

2022 · 11 · 15

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
〒113-0034
東京都文京区湯島2-4-4
平和と労働センター・
全労連会館

発行
滋賀県本部
大津市竜が丘11-22-316
☎077-521-0884
柚口 延

11月 1日現在

会員 318人
(目標350人)
個人署名
641筆
(目標5,000筆)
団体署名17筆
(目標150筆)

す」が添えてあります。署名は互いの信頼を高めます。

映画「わが青春つきるとも—伊藤千代子の生涯—」

湖南市、甲賀市の5会場で、入場者300人を超える

賀市の5会場で映画「わが青春つきるとも」が上映されました。主催は湖南・甲賀上映実行委員会。湖南市で、2会場、甲賀市では3会場で上映されました。

甲賀市の取り組みでは、甲賀市の後援を得て、会場の使用料が無料になり、公民館などにチラシを置くことができました。また市内のケーブルテレビサービス「あいコムこうか」で上映会宣伝をしました。若者向けの宣伝に力を入れ、湖南・甲賀両市にある県立高校前で下校時にチラシを配布しました。

★久しづりに涙がでました。苦しい涙、つらい涙、うれしい涙、最後は希望の涙。とても良かった。★感動の映画をありがとうございました。若い世代につなげていかなけれどと思いました。

一部感想を紹介します

湖南市・菩提寺

甲賀市 小西 嘉代次

甲賀市・菩提寺 コミュニティセンター

甲賀市 小西 嘉代次

湖南市・菩提寺 コミュニティセンター

短期決戦の妙味・・・コロナ禍で、人と会えない、集まれない、しゃべれない・・・ストレス、悲しみはたまりにたまっています。

やっと少し落ち着いたこの時、映画の取り組みに踏み出したことは実にタイムリードったと思います。そしてその中身は娯楽映画ではなかつた・・・ウクライナに一刻も早く平和が訪れるように、少数民族が迫害を受けないよう、女性がスカーフを正しく？つけなかつただけで命を奪われるようなことがないように・・・世界の平和への願いは切実です。国内では物価が上がり、生活が大変。統一協会問題はなんとしても解決せねばなりません。国葬問題も終わつたわけではありません。

100年前、戦争前夜、声を上げ、その思いを貫いた人たちがこんなにいたんですね。この映画は現在に生きる私たちの背中を強く推してくれました。

若者に見てほしいということ額に設定し、実行委員会のみんなで各高校の前でチラシを配り、その受け取り数は400人を超えました。信楽では平成生まれの方、約340人にお手紙もさしあげました。

実際に来てくれた人がどんなにわずかでも、こうした呼びかけができるのは、この映画のおかげ、豊かなチラシ枚数のおかげです。

各会場目標を達成でき、いい映画だね、という感想をいただきました。まだまだ小さいけれどはつきり一步踏み出せた取り組みだと思います。



甲賀市の映画の取り組み

と思います。

100年前、戦争前夜、声を上

げ、その思いを貫いた人たちがこんなにいたんですね。この映画は現在に生きる私たちの背中を強く推してくれました。

若者に見てほしいということ額に設定し、実行委員会のみんなで各高校の前でチラシを配り、その受け取り数は400人を超えました。信楽では平成生まれの方、約340人にお手紙もさしあげました。

で、高校生以下は無料、学生は半額に設定し、実行委員会のみんなで各高校の前でチラシを配り、その受け取り数は400人を超えました。信楽では平成生まれの方、約340人にお手紙もさしあげました。

高島支部事務局長の久保俊明さんが、10月14日亡くなられました。享年75歳。謹んでお悔やみ申しあげます。

久保俊明さんの思い出

高島支部 平野佳明

私が久保さんと初めて会ったのは1972年でした。ギターを抱えて「オッス！」と音で出てくる姿が田端義夫にそつくりなのが忘れられません。久保さんは当時、民青同盟の地区委員長でした。民青には同年の青年がいて、地元の軽音グループやロックバンドなどと協力して、よくコンサートをしました。コンサートでは久保さんが歌う岡林信康のフォークソングが大好評で、いつも最初に舞台に立ち、みんなを乗せていました。同盟員の拡大では共産党と競争しようと言つて、4つの役場と2つの高校に班を作り、最高時

は100人の民青の組織になりました。しかし、権力のスペイ工作や脱退工作で一気に組織を破壊された苦い思い出があります。青年時代の民青の活動は私にとって最も思い出の一になつています。

久保さんとのコラボの再開は2008年の救援会の活動からです。高島の救援会の役員が相次いで病気になり、役員体制が壊れかけたときに久保さんに救援会の会長になつていただきました。この時も100人の救援会組織を合言葉に救援美術展などの取り組みをしながら100名の組織を作つたことを思い出します。

今回私がこの映画に関わったのは、所属している短歌の会「新日本歌人協会」を通じて千代子を知り、彼女の人生に興味を持ったためです。歌人土屋文明は歌集『六月風』の「某日某学園にて」で、諫訪高女での教え子千代子を回想して「こころざしつたふれし少女よ新しき光の中におきておもはむ」「高き世をためざす少女等ここに見れば伊藤千代子がことぞ悲しき」と詠っています。千代子が世に知られるきっかけとなつたともいわれる短歌ですが、久保さんへの供養だと思つてあります。心から「冥福をお祈りします。

はじめまして

この度、映画『伊藤千代子の生涯』上映運動を国賠の皆さんと取り組んだことが縁で入会させていただくことになりました。

大津支部 楠山繁子 (新日本歌人協会 麻雀短歌会)

政治革新の事業には糾余曲折があります。しかし、先達の思いを受け継ぎ次の世代に引き継ぐこと、そして国賠の皆さん粘り強い運動を身近に感じたことは大きな収穫です。

もう若くもなく非力な私ですが、どうぞよろしくお願ひいたします。

発ともいえるこれらの短歌を発表した文明の哀しみと怒りが伝わってきます。私はこの歌集を読んだ時の心震える思いを忘れません。千代子は同郷（私は諫訪とは八ヶ岳を挟んで反対側の佐久の出身です）の先人でありながら今まで全く知らずにいたこと、短歌の世界に入つて日が浅いとは言えこの文明の歌に今まで気づかずにいたことは恥ずかしくまた残念でなりませんでした。

第31回全国女性交流集会に参加しました

11月6日～7日に静岡県熱海市で開催された全国女性交流集会に参加された5人から感想が寄せられました。

全國女性交流集会に初めに参加させていただきました。みなさんが生き生きとしておられ、

しっかりと自分の信念を持ち、それを言葉にして表現しておられ女性のパワーを感じました。この活動を次世代に繋げることが必要だと

思います。 しまった。私ももう一度がんばるうと思いました。

岡田 紀行（湖北支部）

さん生き生きとしておられ、

しっかりと自分の信念を持ち、それを言葉にして表現しておられ女性のパワーを感じました。この活動を次世代に繋げることが必要だと

思います。 しまった。私ももう一度がんばるうと思いました。

岡田 紀行（湖北支部）



講師の田村智子参議院議員

胸に響きました。 私事ですが、2年前にガンで妻

を亡くしましたが、妻も38年間日赤の救急病院で働き、だれに対しても自分の意見をちゃんと言う女性でした。参加して妻を思い出

懐かしい顔、初めて出会った若い女性たち、3年ぶりに100人の仲間と出会えたことにホッとし感動しました。滋賀県からは5人が参加しました。

田村智子さんの話は、女性の

11月6日、記念講演の講師が田村智子参議院議員だと聞いて参加しました。

古谷 道代（県本部女性部長）

性部の独自活動はほとんどストップしています。そんな中でも他団体と手をつないでの「伊藤千代子」上映はどの会場も大成功が続いている。同盟運動について知つてもらう機会と仲間はたくさんおられます。

女性交流集会の報告のつどいを開くなどして、同盟になぜ女性部が必要なのか、もっとお喋りする場を持つたいと思います。

翌日の分科会は、「ストップ憲法改悪」に参加しました。分科会案内では、各地の交流を交流します。同僚運動について知つてもらう機会と仲間はたくさんおられます。

女性交流集会の報告のつどいを開くなどして、同盟になぜ女性部が必要なのか、もっとお喋りする場を持つたいと思います。

最後に、「時代の証言者・伊藤千代子」原作者の藤田氏から、映画上映はどこでも目標達成していく。佐賀県を除く全都道府県で成功したと報告がありました。

藤岡 佐喜子（大津支部）

視点からの切り口にとても生活感を感じ、人間的な温かさを感じました。大学時代にぶつかった学生たちの苦労と怒りを共有し、そこから政治を学び成長し現在に至る田村さんの歩みから入られたので、彼女の距離をとても近く感じました。

田村さんの話は、参加者の敬意を表し、自身を謙遜しながら、大学2年生で学費値上げ反対運動から入党に至った経緯や、伊藤千代子にも触れながら、困難を理論的能力で打ち破る努力、理論的確信を持つこと、攻撃に負けない組織をつくることが重要等々、歯切れのよい期待したどおりの講演でした。

田村さんの話は、参加者の敬意を表し、自身を謙遜しながら、大学2年生で学費値上げ反対運動から入党に至った経緯や、伊藤千代子にも触れながら、困難を理論的能力で打ち破る努力、理論的確信を持つこと、攻撃に負けない組織をつくることが重要等々、歯切れのよい期待したどおりの講演でした。

田村さんの話は、参加者の敬意を表し、自身を謙遜しながら、大学2年生で学費値上げ反対運動から入党に至った経緯や、伊藤千代子にも触れながら、困難を理論的能力で打ち破る努力、理論的確信を持つこと、攻撃に負けない組織をつくることが重要等々、歯切れのよい期待したどおりの講演でした。

1 日目の日本共産党の田村智子 参議院議員の講演では、「岸

田政権は、継争能力の強化を言つ

ている。大軍拡の先に平和は来ない。憲法9条を生かした外交しか

ない。2020年代に戦争ができる

歴史を! 2度と女性の人権を

侵害しない政府を築いていきま

しょう」との言葉に、大感激しま

した。

2日目の分科会は、「治安維持

法はなぜ悪法なのか」に参加しま

した。その中で、「秘密保護法・

戦争法・マイナンバー制度・共謀

罪法・デジタル改革関連法、重要

土地利用規制法の成立で、治安維

持法の内実はほぼ全て復活、「發

動の時を手ぐすね引いて待つてい

る」との内容に、そんなことを

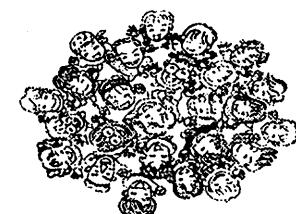
させないようにがんばらなければ

いけないといました。

滝 すみ江（彦根愛犬支部）

3 年ぶりに開催された全国女性

交流集会、今回は田村智子さ



卒寿の思い『少年時代は、戦争だった』③

甲賀市 吉村 克之

元寇の「」とく

てたり、空き教室を使って、戦争の資料を展示した「興亞室」を設けた

りして、「聖戦」のキヤンペーンに邁進していました。

「元寇」とは、モンゴル族の支配する中国國家「元」が日本の服属を

求めた使者を鎌倉幕府を処刑したた

め、その報復として1274年、81

年の2回にわたって、大艦隊を派遣

して北九州を攻撃したのですが、2

回とも台風によって船団は沈没大破

して退散しました。世にこの台風を天の助けによるものとして「神風」

と称しています。

太平洋戦争末期、自爆によって敵

艦を攻撃する非人間的な特攻隊を

「神風特攻隊」と呼んだり、「本土

決戦になつても神風が吹いて勝利す

ると宣伝され、それを神社に祈願する」という例もありました。

さんに入会していたとき一緒に参 加しました。

この間に、「國に謝罪させるま

では!」と108歳まで頑張つて

こられた水谷安子さんをはじめ、

犠牲者の方々や中央本部の役員が

逝去されてとても残念です。国

に対し「治安維持法犠牲者に謝罪

し、賠償を求める」署名の重みを

感じ、一人でも多くの人に広げな

ければと痛感しました。

田村さんの講演や分科会で学んだことを活かし、楽しく元気の出る女性部活動に取り組んでいきました。

秋野 夕子（湖北支部）

自作の和歌「何者ぞ米英來たれ木つ端みじん 元寇の「」とく葬り去らん」を披露しながら、戦争の

正当性と臣民（天皇の家来）としての心構えを説き聞かせました。

E先生は翌年私たちのクラス担任になりましたが、子どもたちから嫌われていました。校舎の大壁

に太平洋・東アジアの大きな地図を掲げて、占領地域に日の丸を立

治安維持法と滋賀県① 岸本部副会長 原田 清

「あの時、聞いておけば…」の後悔ばかり

前号で紹介した犠牲者の原田耕さん、太田増美さん、伊藤誠一さんと、戦後、私は面識があつた。

原田耕さんは大津市に住み、日本共産党長等居住細胞に所属し、松竹京都撮影所に勤めていた。

戦前の闘士を偲ばれる風貌をしておられた。少々、近づきが

たい感があつて、それに活動歴を知らないものだから、戦前の苦闘をなにも聞かないで過ごした。

歴史を知ろうとしている。しかし小西賢吉さんが「傲慢な姿勢」があつたと反省している。しかし小西賢吉さんが戦後滋賀の日本共産党発足を記録した『礎を築いた人びと』で、原田耕さんを紹介しているので、それを読んでほしい。

ただ一点、原田さんが「生涯を非転向でつらぬ」と夫人が言つていることは同意できない。

伊藤誠一さんは膳所に住んで

というのは、原田さんが佐野学などの「転向」を肯定するような発言をしているからである

(『特高月報』による)。その時、原田さんは保釈中で、そう言わないと獄中に逆戻りする恐れがあったから、そう言つたのだと思う。そのことで私は、原

田さんを貶める気持ちはさらさらない。しかし、歴史は正直に残すものだと思う。

「彦根共産党事件」の太田増美さんは、一九四九年に日本社会党から日本共産党に移られた。

膳所神社の近くで飲食店を営んでおられた記憶があるが、あまり付き合いがなく、何も話が聞けなかつた。これも悔やみの残ることだ。一九五〇年秋ごろから私は半公然活動に移つたので、太田さんのその後は知ら

ないのが、これまで残念である。

いで、ちよくちよく出会つた。背の高い人で色黒の顔をしていて、いつもなにか沈んで見えた。

ところで『滋賀県労働運動史』に掘り起こしていきたい。

戦前の苦闘をそのまま残している。これも後悔事だ。ああ、私は何という「歴史音痴」だったのだろう。伊藤さんからは、滋賀の戦前の労働運動についてリアルな話を聞けたのだろうに……。

しかしこの点も、滋賀民報社刊の『近代の滋賀』で小西賢吉さんが、日本労働組合評議会京都合同労組能登川支部の執行委員になつた伊藤誠一さんの証言を記録している。

治安維持法パネル展の開催

お知らせ

◆12月10日(土)、11日(日)

展示時間は、未定

◆ギヤラリーQ

大津市中央一丁目8-8

滋賀民報社1階

治安維持法を解説する資料、滋賀の治安維持法犠牲者や滋賀の空襲実態の資料を展示します。

私はだいぶ前から「先達の命か

けたる闘いありて、今日、我こそ

滋賀と朝鮮 80

米原小学校①

河かおる

是金昭三さんより、再びお手紙と資料をいただきました。大変ありがとうございます。

(戦前) 城西小学校にも朝鮮人児童がいたが、近江綿糸の朝鮮人労働者と関係があつたのではない。彦根市に朝鮮人が多く住むようになつた背景の一つとして戦争末期にはじまつた松原内湖干拓があるので、是金さんは学徒動員でこの干拓工事に従事されたこと。当時、朝鮮人の飯場があつた場所は、現在の近江高のグラウンドの川向かいあたりにあつたこと。戦後に城東小在籍の朝鮮人児童が多く居住していたのは、今彦根市役所の裏側の下瓦焼町(現・旭町)で、沈先生の家は上瓦焼町(現・佐和町)だったこと。朝鮮総連の事務所も彦根駅近くにあつたこと、などなど。紙の

資料ではわからない」と、知らなかつたことをたくさん教えていただきました。

また「平和の誓」像については『新修彦根市史4 現代』(2015年)にも紹介されていることを教

示いただきました。『新修彦根市史』の現代編は市による刊行中止で

物議を醸したのちに刊行されたことは知っていたのですが、迂闊にも内

容をチェックしていませんでした!

それによると、「平和の誓」像除幕

式より1年余り前の1960年3月

に、朝鮮総連湖北支部から城東小に

「緑化園」を作りたいとの申出があ

り、学校側は受け入れたのに教育委

員会が断り、社会党議員がなぜ許可

されないのかと教育長を追及したそ

です。京都新聞が典拠のようなの

で、一度調べてみたいと思います。

さて、今回からは米原小学校の朝

鮮人学級のことを書こうと思つていいのですが、その理由は、旧米原小学校にも「平和の誓」像と同じような「平和の光」像が残されているからです。滋賀県でも、全国でも、公立小学校に朝鮮人学級が設置されたところはたくさんあります。このような像が寄贈されたのは全国で城東小と米原小だけです。

今回、是金さんのおかげで総連湖北支部が城東小に「緑化園」を提案してはいたということを知つて、もし

かしてそれは米原小のほうで実現したのかも?と想像しています。とい

うのも、米原小の「平和の光」像

は、庭園のように造成された中にあ

るからです。城東小、米原小、醒井

小の朝鮮人学級は、あわせて湖北地区朝鮮人初級学校を構成しており、卒業式などもこの「湖北地区」単位で日本の学校とは別にやつていま

た。

写真1は旧米原小学校の校舎で、1986年に米原小と入江小が統合するまで使用されていたよ

うです。私が2005年に撮影した際は坂田郡少年センターの看板が掛かっていました。「平和の光」像(写真2)はこの門を入つて右側の庭園の中に入り、庭園の中には、今となつては何を表して

いるのかよくわからないモニュメントらしきものが、あちこちにありました。和暦では無く西暦が刻んであるものもあったので、朝鮮人児童の製作した卒業作品かもしれないと想像しています。門を入つて左側には大きな「宮尊徳像

がありました。

映画の撮影にでも使えそうな風情のあるたたずまいの校舎だったので、そのうち文化財にでも指定されて残るのだろうと思つたら、2017年に米原保育園の新園舎の完成とともに解体され、跡地が園庭になつてしまいま

した。そのことを後になつて知り、像はどうなつたかと焦りましたが、幸い、像とその周辺の庭園

は残っていました。像の場所は、元々あつた場所からは少し山側に移転されていました。校舎が無くなつてしまつたのは残念ですが、二宮尊徳像のあつたところも更地になつてしまつたので、「平和の光」像と、像がかつたです。もしかして、像だけではなく庭園そのものが在日朝鮮人の残したものかもしれないと思うと、なおさらです。

私が写真2を撮影した2005年当時には無かつたのですが、その後しばらくして、像をL字に囲うように木製の壁と屋根が取り付けられました。米原市が行つたものと思いますが経緯はよく知りません。「平和の誓」像がほぼ等身大であるのに対し、「平和の光」像は、1/2等身大ぐらいの大きさで、石像です。中央が女性の教員なのは同じで、両端には女児だけがいる3人の像です。向かって教員の左側にはチマ・チヨゴリの朝鮮人と思われる女児、右側にはおかっぱ頭でミニスカートの日本人と思われる女児がいて、お互い

に肩を組んだり手を取り合つています。

米原駅からも徒歩で行けますし、近くには公民館があり駐車もできますので、ぜひ、お近くに行かれたら立ち寄つてみてください。Google マップで「平和の光像」と検索すると、誰かがランドマークを設定してくれたようで、すぐ出てきます。次回からは、米原小に朝鮮人学級ができる経緯などについて書いて行きます。

写真1　旧米原小学校校舎
(2005年5月、河撮影)



写真2　「平和の光」像
(2005年5月、河撮影)

